

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月15日			
	総事業費	743,400千円(上ノ国町分334,530千円)			
	交付金額	247,800千円(上ノ国町分111,510千円)			
	整備対象地域	上ノ国町内全域(膳棚・中外地区除く)			
	事業の内容	<p>上ノ国町は、町内全域のブロードバンドゼロ地域解消に向けて、住民や民間電気通信事業者と協力し、平成15年4月に上ノ国町の市街地にxDSLを誘致した。しかしながら、xDSLはNTT交換局から約4kmしかカバー出来ず、光ブロードバンドサービスは事業者の採算面での理由から拡大されなかったことから、依然、14地区がブロードバンド未整備となっていた。</p> <p>町としても、高度情報化社会への対応として、地域の社会・経済活動を活性化するための町づくりを推進しているところであり、本事業を実施することにより、町内のブロードバンドゼロ地域を解消し、地域全体の情報化を実現するための「光情報基盤整備」を計画したものである。</p> <p>本事業では、xDSL整備地区を含む町の大部分の地域に対しFTTHを整備し、民間電気通信事業者にIRUで開放する事により、超高速ブロードバンドサービスを利用出来る環境を整備した。</p>			
BB	サービス開始日	平成23年4月22日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	株式会社NTT東日本-北海道			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	2700	2700	2649	2585
	加入世帯数	540	1080	434	647
加入率(%)	20.0	40.0	16.4	25.0	
評価及び課題	<p>開通以降、加入促進に努めてきたが、目標の加入率40%に達していない。この要因は、スマートフォンの普及や高齢者人口が40%であることが大きく影響しているものと思われる。</p> <p>今後は、広域無線LANをはじめとするWI-FI網の整備が必要となってくるが、WI-FI利用に伴う光回線の個人利用客の減少への対策が課題となっている。</p>				